

# コロナに負けない！村独自の

■一般会計補正予算は、2億4356万円を追加し、総額158億8603万円に

## 【令和2年第2回定例会】

6月定例会はコロナ禍を考慮し、6月9日から6月12日まで、最短4日間の会期で開催された。

令和2年度一般会計補正予算等（報告5、予算2、条例7、契約の承認2、人事3）、全19議案を原案通り可決した。人事では、固定資産評価審査員・農業委員の同意及び人権擁護委員の推薦を承認した。

特に今回は新型コロナウイルス対策で、村民の暮らしと経済を守る為に、村独自の支援策等が予算化された。一般質問には4名が登壇し（P6～9）、行政の諸問題について質問した。

## 【令和2年度一般会計補正予算】

### 主な事業

小・中学校のネット環境整備関連（※詳細は下記参照）…………… 7725万円

宿泊支援助成事業（新型コロナウイルス対策、※詳細は下記に）…………… 1200万円

（株）あそ望の郷みなみあそ 休業支援給付金…………… 6000万円

農業緊急雇用促進事業（新型コロナウイルス対策）…………… 2400万円

持続化給付金の申請手続き委託事業…………… 200万円

阿蘇火山防災園芸対策事業（園芸ハウスの降灰対策）…………… 2845万円

みなみあそ復興マラソン大会助成…………… 900万円減額

### 「オンライン授業化も視野に、 学校現場のICT化※を加速」

国の「GIGAスクール構想」（詳細はP9）補助金を活用し、今年度当初予算では、小・中学校の校舎Wi-Fi化を予算化（5千万円）。コロナ禍を受け、学校現場のICTを前倒しで実施する為に、予算を増額。これで、オンライン授業も可能になります。

#### 内 容

- ・生徒1人1台のタブレット支給
- ・自宅用Wi-Fiルーターの貸出
- ・GIGAスクールサポーター（支援員）の配置

### 「村内観光業の復活に向けて、 村独自で宿泊費を半額助成」

全国で緊急事態宣言は解除されたものの、村内の観光客はコロナ前には戻っていません。

そこで、村内観光業の支援・誘客を目的に、村が宿泊費の半額を助成します。

#### 内 容

- ・熊本県民が対象
- ・村内での宿泊費の1/2（上限5000円まで）を助成します
- ・村内店舗で使用可能な商品券1000円分を進呈

※ICTとは…Information and Communication Technologyの略。情報通信技術のこと。

学校現場のICT化とは…高度に発達したテクノロジーを利用し、より効果的に教育を行おうとすること。